

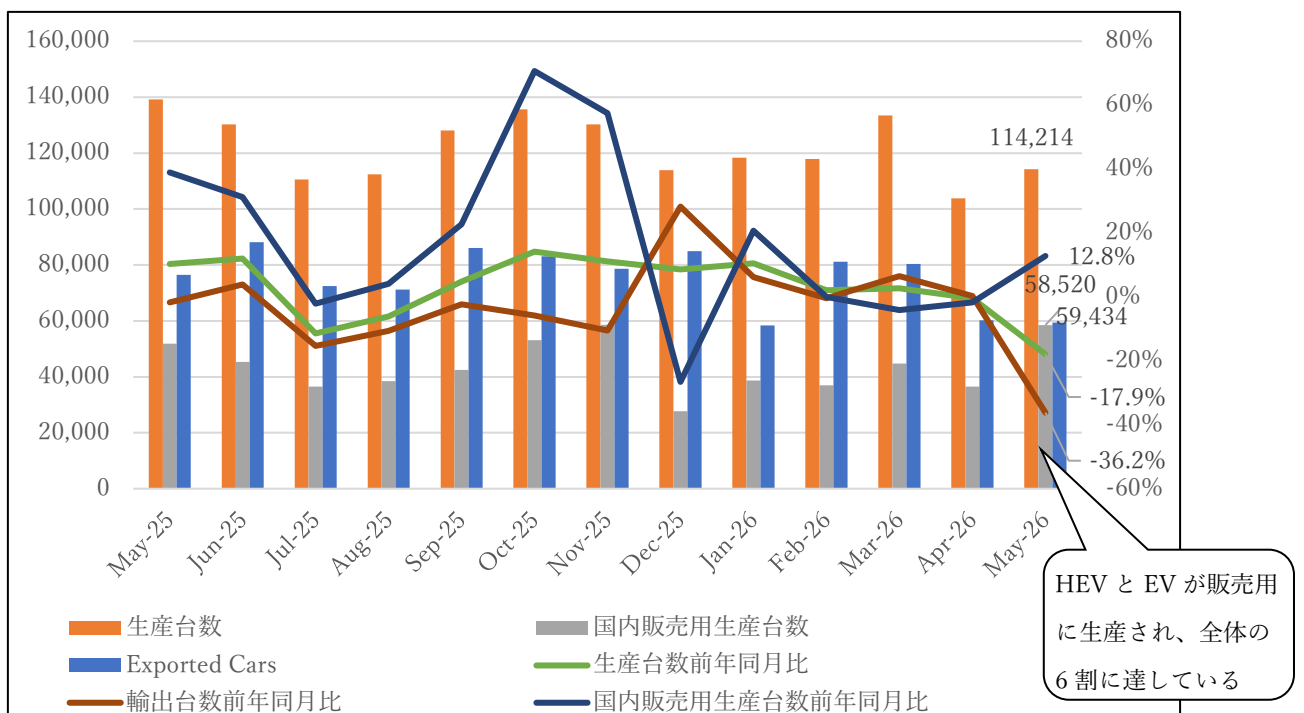
タイ経済指標斜め読み

(2026 年 7 月版)

ビジネスサポート部
加藤義人
kato@mat.co.th

■No. 1 ■【統計データ】自動車生産台数

タイ工業連盟は、5月の自動車生産・輸出・販売用台数を発表した。

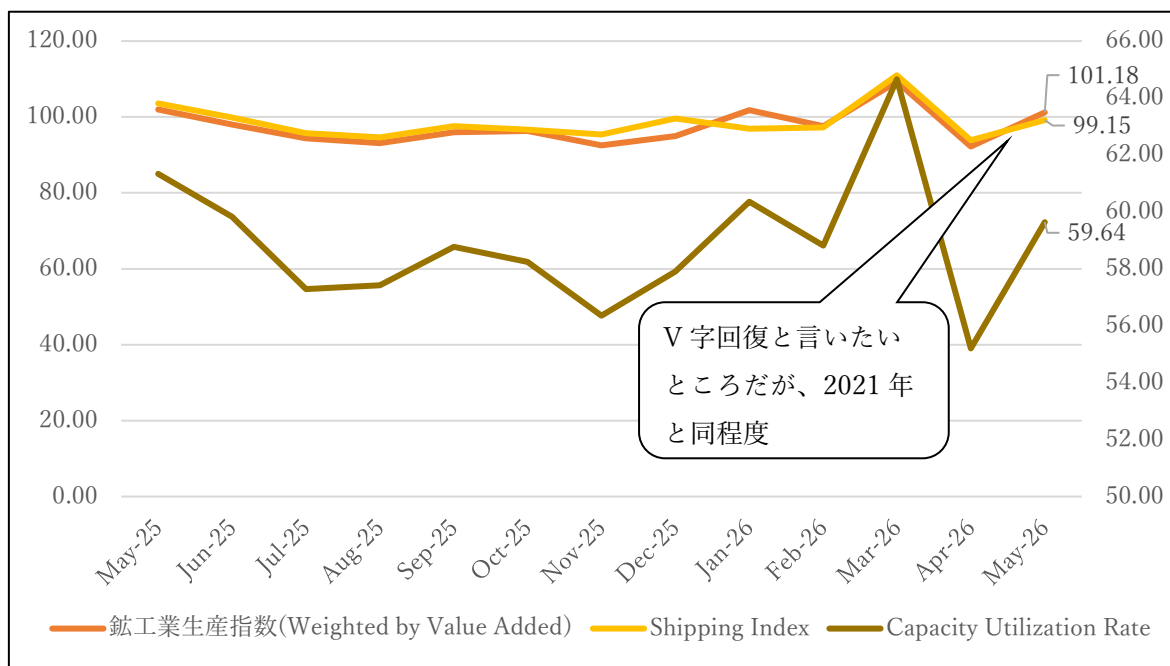


5月の自動車生産台数は114,214台、前年同月比-17.9%、同国内販売用台数は58,520台、前年同月比-17.9%、同輸出台数は59,434台、前年同月比-36.2%となった。生産台数は前月から増加した。要因として、EVとHEVの国内販売台数が好調であった。一方、輸出は、中東向けが減少となった。また、特徴的な事として、国内販売用生産台数が輸出台数を初めて上回ったこと。中東情勢が不安定なことで、逆転現象が起こったと思うが、国内景気が徐々に回復している傾向とも言える。

出所 : <https://fti.or.th/>

■No. 2 ■【指数データ】工業生産指数・輸送指数・設備稼働率

タイ商務省工業経済事務局（OIE）は、5月の鉱工業生産指数・海上輸送指数・設備稼働率を発表した。（2021年＝100）



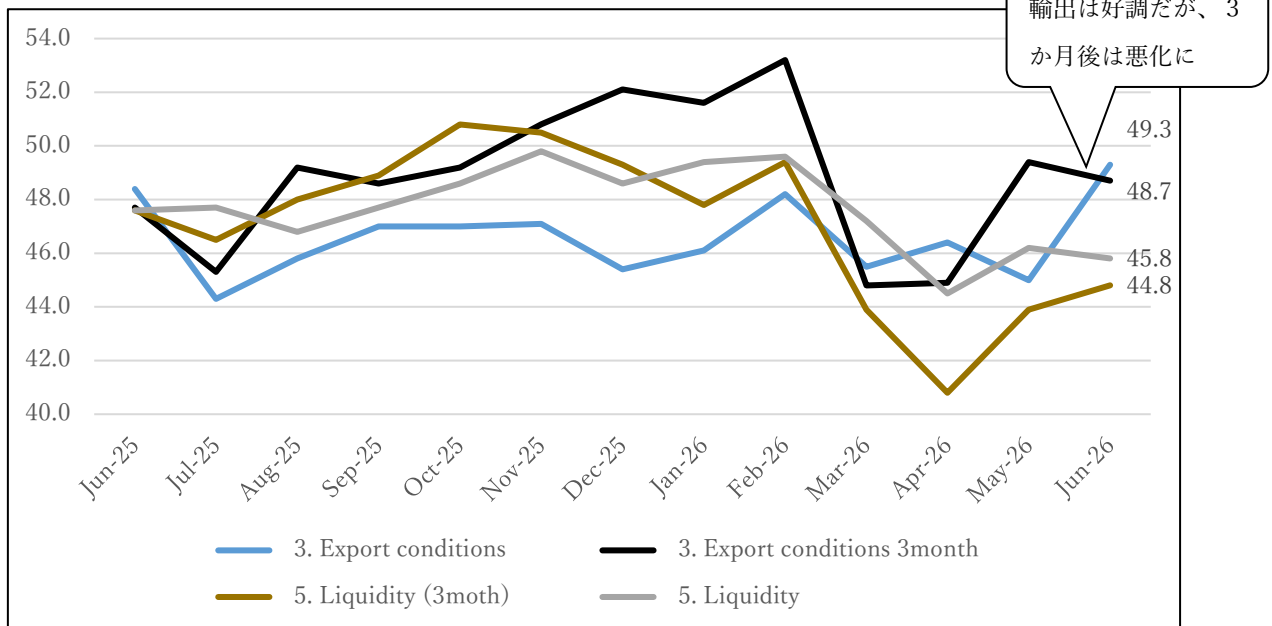
5月の鉱工業生産指数は101.18、海上輸送指数は99.15、設備稼働率は59.64%になった。前月から改善した。自動車生産台数も前月から増加したことや、PC製品や集積回路の製造と輸出が増加したことなどで、回復基調となった。また、設備稼働率に関しても同様だが、高いレベルとは言い切れなく、生産指数でも2021年レベルを少し上回る程度なので、他の月と比べても平凡な値と言える。とはいえ、国内の自動車販売が回復している事やPCや集積回路の輸出額が過去最高になるなど好要因もあり、来月以降も改善が続いていくと思われ、米・イラン戦争での原油や原材料高の影響は、徐々に薄れてきていると考えられる。

出所 : <https://www.oie.go.th/>

■No. 3■【指数データ】資産流動性指数、輸出状況指数

タイ中央銀行（BOT）は、6月の資産流動性指数ならびに輸出状況指数を発表した。

（50＝前月から変化なし）



流動性（Liquidity）：資産を市場で売却して現金化するまでの速さと容易さ。

6月の資産流動性指数は45.8、同三か月後の期待値は44.8となった。次に輸出状況指数は49.3、同三か月後の期待値は48.7となった。資産流動性が前月から悪化した要因としては、同時にOutput Price（販売価格指数・出荷価格指数）も低下しているため、国内マーケットがまだ弱く、値上げが出来ない状況にあると推測される。また、商務省の6月の企業清算数は1760社で、前年同月から300社も増加していることから、企業の収益が悪化していると思われ、現金が不足していることが伺える。好意的な見方をすると、設備投資に資金を使っていることで、一時的に資産が減少しているとも言えないかも。。次に、輸出状況指数は49.3、同三か月後の期待値は48.7で、前月から改善している。半導体やPCなど電子製品の輸出が好調で、輸出状況指数を押し上げている。

出所：<https://www.bot.or.th/>

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2026 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。